

全国商工新聞

第2841号 付録 富士宮版(富士宮民商ニュース)

第35回定期総会開催される

7月17日(木)、富士宮市民文化会館大ホールで開かれた民商第35回定期総会には152人の会員が集まり、この一年間の活動の総括を行い、次年度の活動方針と役員を決めました。

来賓は、清水民商から沼田副会長と野田事務局長、富士民商から依田会長と山崎事務局長、9条の会から原田事務局長、母親連絡会から池田事務局長、共産党の佐野富士宮市議員(元市議)、共産党富士宮市議の佐野・渡辺議員、同じく増田芝川町議員の10人でした。

方針では、班・支部を強化し、「毎年1会員1部の商工新聞を増やすことを努力目標とすること」を再確認しました。また、今年10月から商工新聞代が100円値上げされることに伴い、民商会費が100円値上げとなります。商工新聞は、郵送に頼るばかりでは、民商の財政を圧迫します(郵送の場合、全商連に新聞の原価を支払うと、その残り金(還元金)といえます)170円ではひと月分の郵送料である200円から250円をまかなえず赤字になる。方針では郵送から班に依拠した手配りで還元金の有

書名のお知らせ
 ☆8月中旬から「原油・資材高騰危機打開・消費税増税阻止」の新書名が始まるようです。

効活用をはかるとしています。

今年4月1日から、いよいよ静岡地方税滞納整理機構が開始し、県税・市税の滞納整理(差し押さえ中心)が開始されます。これは国保や税金の滞納に悩まされる市町村が協同し、静岡県の手合のもと、税金取立てのプロジェクト機関をつくり、その職員にヤクザまがいの税金取立てをさせようというものです。市町村から機構へと支払われる取立て料は1件20万円とも30万円とも言われています。

「滞納整理機構へ送るぞー」という脅しの文書が市町村から送られてきたら、無視せず、民商へ相談を。



民商事務局の夏休みについて
 次の夏休み期間、事務所を閉鎖します。

8月13日(水)から17日(日)まで

税務調査 選定始まる

人事異動も終わった7月半ばから、いよいよ今年度の税務調査選定が、始まりました。個人課税部門では、現場の担当者が二人とも2年になりましたので、この7月からは新任の民商担当職員が就任しているハズです。

さて、選定は7月17日に上野班で1人、7月24日に鷹岡班で1人、25日には上井出班から1人選ばれました。このニュースを書いている28日時点ではまだ次の対象者が選ばれていないので、とりあえず3人、というところでしょうか。今年の傾向はチヨツとわかりません。ただ、3人のうち、2人については「事業継承」決算と「法

人なり」です。税務署が調査選定の着眼点は「変化」です。不動産取得とか経営上の変化業態が変わって損益計算書上で各科目の売上対比割合が変動する場合等)は特に狙われるパターンです。

なお、役員会は、9月の下旬に税務署交渉を計画しています。対象者を抱える班は、班毎に「税務対象者を励ます班会」等を開催するなどして、調査になつてしまつた会員を励ましてほしい。

青年部からお知らせ

県青年部協議会では交流バーベキュー大会を次の日程で開催します。子供連れでも歓迎。参加費・交通費は民商もち。1人3千円の活動費も支給されます。参加希望者は事務局の後藤まで。8月3日(日)午前11時から。三島市谷田台崎の加藤工業にて

部員募集

「民商バンド」を作ります。

目的: 民商の行事等での演奏および会員間の交流
 募集部員: 民商会員とその関連協力者で構成し、おおむね10人前後で作ります。

練習: 文化会館の練習室を借り、毎月1回程度の練習をする予定です。

部費: 後日、部員全員で話し合い決定します。

組織: 所属は企画部の管轄下とし、バンド内部に部長・副部长・会計を置きます。

部長は稲葉(芝川班)
 副部长は佐野(会長)
 会計は望月(万野班)
 が当面バンド三役となる予定です。

